



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 287
February
2017

トピックス

メンバー国との防災協力推進

熊本におけるアジア防災センター運営委員会

●メンバー国との防災協力推進

熊本におけるアジア防災センター運営委員会

アジア防災センター（ADRC）においては、通常、アジア防災会議を開催する機会に、加盟国による運営委員会を開催してきたところです。2015年度には、タイのプーケットにおいて2016年2月にアジア防災会議が開催された折に運営委員会を開催しました。



アジア諸国防災担当者 熊本地震被災地視察の集合写真

平成28年度は、12月19日及び20日に、加盟国防災担当者による熊本地震被災地視察が実施された際に、我が国の熊本市においてアジア防災センター運営委員会を開催しました。委員会にはADRCの23の加盟国が出席し、内閣府(防災担当)の佐谷説子参事官が議長を務め、ADRCの将来の課題について、活発な意見交換が行われました。

まず、ADRCから最近及び当面の活動についての報告をしました。この中ではADRCの3つの活動の柱、すなわち、自然災害に関する情報の収集および共有、人材育成、加盟国、国際機関等との協力について、各々近年の取組と今後の課題についての報告をしました。これらに加えて、世界津波防災の日制定に伴うADRCの津波防災への取組、阪神・淡路大震災等の過去の自然災害の教訓に学ぶ取組についても報告しました。



運営委員会の様子

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2017

続き

<ADRC設立20周年に向けて>

運営委員会においては、今後のADRCの活動について幅広い議論が行われた中で、ADRCの年次会合であるアジア防災会議について、次回、2017年については、アゼルバイジャンより、今年秋に同国で開催する提案があり、加盟国の承認を得ました。アジア防災会議は、我が国の他、過去においては、カンボジア、韓国、カザフスタン、インドネシア、スリランカ及びタイにおいて開催されてきたが、コーカサス地域での開催はこれが初めてとなります（図：世界会議とアジア防災会議の経緯参照。）。

運営委員会では、アゼルバイジャンにおけるACDR開催への大きな期待が示されるとともに、日本の内閣府から、ADRC設立20周年に当たる平成30年度には、ADRCの本部が置かれている、日本の兵庫県に再び立ち戻って開催することが提案され、承認されました。

今回の運営委員会においては、このほかADRCの設立20周年以降に向けて、成長著しいアジア諸国の防災への新たなニーズをくみ取り、新たな活動の柱としてどのような活動を重視していくことが加盟国の直面する今後の防災ニーズに適うのか、等の投げかけがあり、運営委員会の場だけでなく、今後20周年に向けて様々な国際会議等の場を活用し、加盟国と議論していくこととされました。

設立20周年に向けて、その後の20年の活動、優先課題について、議論を深めてまいります。



世界会議とアジア防災会議の経緯

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。